

II 主催事業

〔6〕「親子でチャレンジ!

フィールドアスレチックとバウムクーヘン」



1. ねらい

フィールドアスレチックの挑戦とバウムクーヘン作りの体験を通して親子間の交流を深めるとともに、森林に興味をもつ。

2. 実施日

7月26日(日)

3. 対象者

小学生以上の子どもを含む親子

4. 募集定員/応募人数/参加人数

12組/34組(109人)/11組(37人)

5. スケジュール

雨天プログラム

- | | |
|-------|-------------|
| 10:15 | 開会式、日程説明 |
| 10:30 | 室内レクリエーション |
| 11:00 | 追跡オリエンテーリング |
| 12:30 | 昼食(持参弁当) |
| 13:30 | バウムクーヘン作り |
| 16:00 | 閉会式 |

当初は7月29日(水)の実施を予定していたが、新型コロナウイルスの影響による休校が長引いたため、学校の夏休み期間が短縮となり、日曜日に変更して開催することとした。また、新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年度より大幅に募集人数を減らすこととなった。

当日は前日までの雨によるアスレチック施設の状況から安全面を考慮して雨天プログラムでの実施とした。

開会式

参加者の受付がスムーズに進んだこともあり、定刻より少し早くプレイホールにて開会式を行った。担当からのあいさつの後、キャンプ補助員からセンター利用についてのオリエンテーション、続いて担当から日程説明を行った。

室内レクリエーション

開会式のあと準備運動を兼ねて室内レクリエーション

を行った。内容としては互いに身体接触を伴わないものとし、一人でもできるように配慮した。

追跡オリエンテーリング(以下、追跡OL)

雨天プログラムとして追跡OLを行った。例年は複数グループで1班の編成をとっていたが、1グループで1班とし、密を避ける工夫をした。途中から雨が降り出したため、傘を差したり雨ガッパを着用しての散策となり、休憩を兼ねて雨宿りする姿もみられた。計画では1時間半の活動としていたが、スタート時刻が20分早まったことで、すべての班が全ポストをクリアしゴールすることができた。結果としてはよかったが、今後活動時間の見直しを図る必要性を感じた。



ゴール地点で各ポストにある3択クイズの解答を所員が行ったが、その際に参加者親子が一喜一憂する微笑ましい姿が見られた。

参加者からは、「アスレチックができなくて残念だった」という声もあったが、「オリエンテーリングが意外に楽しかった」との声も聞かれた。

バウムクーヘン作り(以下、BK)

雨天のためガーデン広場で行うことにした。1グループで1つのテーブルを利用していただくとともに、焼く場所も3カ所に分散させ密を避ける工夫をした。



生地づくりから焼き方に至る作業工程の説明ののち、体験スタートとなった。参加者からは、「楽しかった」との感想が多く聞かれた。



6. まとめ

アスレチックを楽しみにしていた参加者にとっては少し物足りなかったかも知れないが、アンケートに「オリエンテーリングも楽しめた。」という声もあったのでプログラムとしてはよかったと思う。

BKでも時折激しい雨が降ることもあったが、暑さが和らいだ分、炭火でじっくり焼き上げる参加者の姿も見られた。昨年度同様、予定よりも30分早い閉会となったので、BKの時間短縮を検討したい。